

転倒災害防止コンテスト 表彰事例発表

盛岡労働基準監督署では、転倒災害防止するための取組事例を管内事業場から募集・表彰する転倒災害防止コンテストを初めて開催しました。

同コンテストにおいては、転倒災害防止対策として重要な「4S（整理・整頓・清掃・清潔）」、「危険の見える化」、「設備改善」、「体づくり」の観点から応募事例の審査を行い、他の事業場の参考になるものを選出し、表彰しました。

*今回紹介した事例以外の応募事例については、後日事例集として公表予定です。

表彰者一覧

4S活動部門

森永乳業株式会社 盛岡工場（盛岡市）

見える化部門

イワテ・プリミート株式会社（紫波町）

東北電力ネットワーク株式会社

盛岡電力センター（盛岡市）

設備改善部門

岩手東邦運輸倉庫株式会社（盛岡市）

小岩井乳業株式会社 小岩井工場（雫石町）

樋下建設株式会社 道の駅前駐車場改良舗装工事
（盛岡市）

株式会社ベン 岩手工場（矢巾町）

株式会社山與 米内砕石工場（盛岡市）

体づくり部門

日本通運株式会社 盛岡支店（盛岡市）

東野建設工業株式会社（盛岡市）



表彰式の様子



前列左からイワテ・プリミート(株)、小岩井乳業(株)小岩井工場、日本通運(株)盛岡支店、署長、東北電力ネットワーク(株)盛岡電力センター、(株)山與、樋下建設(株)
後列左から安全衛生課監督官、東野建設工業(株)2名、岩手東邦運輸倉庫(株)2名、安全衛生課長 *敬称略

4S活動部門

森永乳業株式会社 盛岡工場（盛岡市）

取組ポイント

・受入れ時にローリー室で用いるホースを床に這わせないように架台を作成し、ホースを上を持ち上げることで、ホースの踏みつけ、躓きによる転倒災害防止を図っている。



ホース

架台

監督署より

・ホースを上を持ち上げるというユニークな取り組みでありながら、躓き防止に効果的な対策です。
・室内も整理整頓、清掃が行き届いており、わずかな段差にもトラテープで注意喚起するなど転倒防止のための取組が随所に見られます。

転倒災害防止コンテスト 表彰事例発表

見える化部門

イワテ・プリミート株式会社（紫波町）

取組ポイント

- ・労働者が毎日目に入る場所に転倒災害ハザードマップを掲示し注意呼び掛けの実施している。
- ・安全衛生担当者より各現場の朝礼等で、ハザードマップを見る事と呼び掛けし転倒災害について、意識向上を図っている。



監督署より

- ・転倒災害ハザードマップを写真付きで作成しており、注意すべき場所がわかりやすいです。
- ・作成したハザードマップは労働者の目に入る場所に掲示し、あわせて安全衛生担当者より各現場の朝礼で呼びかけることで、内容を広く周知することができています。

見える化部門

東北電力ネットワーク株式会社 盛岡電力センター（盛岡市）

取組ポイント

- ・屋外作業における冬季特有災害の発生リスクが高まる時期を「冬季労働安全推進運動」期間とし、企業グループ一体となって災害ゼロで乗り切ることを目指している。運動の一環として、「過去の転倒労働災害の振り返ること」と「類似災害の未然防止」を目的に、「東北電力ネットワーク（株）盛岡電力センター周辺 転倒災害 危険個所マップ」を作成し、危険個所の見える化を図っている。



監督署より

- ・屋外作業が多いという仕事の特徴を踏まえ、事業場周辺の見える化マップを写真付きで作成しています。転倒しやすい場所や転びにくい歩き方もあわせて紹介されており、危険個所と対策がひと目で確認できるマップとなっています。

設備改善部門

岩手東邦運輸倉庫株式会社（盛岡市）

取組ポイント

- ・トラックにおける荷役作業時の転倒・転落を防止するため、作業台を設置し、足場と作業スペースを広く確保した。対策実施後は転倒・転落災害「ゼロ」を継続している。



監督署より

- ・従来の荷役作業では労働者が作業するスペースが狭く、無理な姿勢での作業となっていました。広い作業台を設置したことにより、転倒災害のみならず転倒を起因とする転落など荷役作業で発生しやすい様々な労働災害のリスクを低減することができています。

転倒災害防止コンテスト 表彰事例発表

設備改善部門

小岩井乳業株式会社 小岩井工場（雫石町）

取組ポイント

- ・冬季特有の転倒災害を防止するため、屋外の階段に電熱式融雪マットを設置し、積雪・凍結による転倒災害を防いでいる。
- ・靴底取付型スパイクを配布し、屋外歩行時の転倒災害を防止している。



電熱式融雪マット



靴底取付型スパイク

監督署より

- ・融雪剤や滑り止め防止テープの効果が得られにくい屋外階段には電熱式融雪マットが効果的と考えられます。
- ・取り外しが可能な取り付け型のスパイクは着用する場所の状況に使い分けができます。屋外作業が多い仕事の特徴や積雪の多い地域ならではの取り組みです。

設備改善部門

樋下建設株式会社 道の駅駐車場改良舗装工事（盛岡市）

取組ポイント

- ・駐車場の改良工事において、やむを得ず生じる現駐車場と新駐車場の高低差部分に従来の敷鉄板ではなく格子状加工されていて滑りにくい鋼製のロードマットを敷設し、現場作業員と駐車場利用者と両方の転倒防止を図った。



鋼製マット

監督署より

- ・敷鉄板は不整地の安全通路の確保に有用ですが、積雪や凍結により滑りやすくなってしまいうデメリットを解消し、段差の解消も同時に実現しています。

設備改善部門

株式会社ベン 岩手工場（矢巾町）

取組ポイント

- ・駐車場から社員通用口まで距離があり、かつ西日が当たりやすいため凍結しやすく危険な状態だったため、駐車場から通用口までゴムマットを敷設した。



ゴムマット

監督署より

- ・冬季は出勤・退勤後、駐車場での転倒災害が多く発生しています。本件は、雪が溶けにくく、通用口から駐車場まで距離があるという立地の課題を解決すべく、通路の全長にわたってゴムマットを敷設するという斬新な取り組みです。

転倒災害防止コンテスト 表彰事例発表

設備改善部門

株式会社山與 米内砕石工場（盛岡市）

取組ポイント

- ・屋外階段の踏面の際に蛍光塗料を塗布し、目立たせている。
- ・屋外歩廊や階段の手すりにトラテープを設置し、手すりの使用を必須としている。不具合箇所は点検し、場長に報告、即修繕している。



監督署より

- ・蛍光塗料は悪天候時や夜間でも階段の踏面の際が見やすくなるため、階段の踏み外しや躓き防止に効果的です。また手すりの使用勧奨も転倒や転落災害防止対策として有効です。

体づくり部門

日本通運株式会社 盛岡支店（盛岡市）

取組ポイント

- ・各事業場共通で行っている「日通体操」に加え、転倒災害防止体操を取り入れ実践することで、転倒防止の筋力向上を図っている。
- ・転倒災害防止教育動画を作成し、視聴教育を行い意識向上に努めている。



監督署より

- ・独自に取り組んでいる体操のほかに、短時間でできる転倒災害防止体操をプラスで取り入れることで、全社を挙げて転びにくい体づくりに取り組んでいます。
- ・転倒災害防止教育のため独自の動画を作成し教育に活用するなど、ソフト面の対策にも力を入れています。

体づくり部門

東野建設工業株式会社（盛岡市）

取組ポイント

- ・本社及び各現場で朝礼での「転倒予防体操」に取り組んでいる。本社ではデスクワークが多く運動不足や加齢による身体機能の低下を感じるとい声が多く、ラジオ体操とは異なる体操を取り入れている。現場では下請業者など他社の作業員も巻き込んで一緒に体操を行っている。



監督署より

- ・建設現場で体操を行う事例は多いですが、本社の事務員も一緒に転倒予防体操を行うのは珍しく、労働者の声を取り入れながら事務所、現場作業員及び現場に入場する下請業者が一体となって転びにくい体づくりに取り組んでいます。